

【面接官の印象】

1. 外国人面接官(以下 NS)について
30代男性（米国かカナダで育ったと思われる）
2. 通訳ガイド(以下 TG)について
50代日本人女性、親切な感じ。

【面接試験の実際】

1. 通訳試験について

TG	入るとすぐ椅子が三つあり、右側には、A4用紙をはさんだボードとボールペンが幾つかある。 「これから私が日本語で話すことを・・・メモをとっても良いです。」 筆記具は試験終了後、TGが階段を下りて来て回収。
I	「東京の秋葉原は全国一の電気街です。商店街には、600以上の店があり、日本人のお客ばかりでなく、外国人のお客も大勢来ます。それからメイドの服装をした少女が働くメイド喫茶も有名です。（記憶のまま）」

2. 2分間プレゼンテーションについて

カードの内容	渡されたカードには3つの話題があり、 <ol style="list-style-type: none">1. 四季の花について2. 日本の宗教3. 温泉に入るときの注意
I	3番を選びましたが、すぐに2分が来て、途中で stop。

3. 質疑応答について

NS	「どうしても裸で入らねばならないのですか？」 「浴槽に入る前に、体を洗うのにシャワーがありますか？」 「おすすめの温泉は？」
I	「草津温泉は古くから薬効があるので有名で、近代的なホテルの他、伝統的な建物もあります。」

【試験を終えて】

あっという間に終わり（時間切れ）帰途後悔していましたが、先生方、職員の皆様に感謝いたしております。